

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第1区分

【発行日】平成23年7月7日(2011.7.7)

【公表番号】特表2010-536035(P2010-536035A)

【公表日】平成22年11月25日(2010.11.25)

【年通号数】公開・登録公報2010-047

【出願番号】特願2010-520011(P2010-520011)

【国際特許分類】

G 01 N 27/26 (2006.01)

G 01 N 27/416 (2006.01)

【F I】

G 01 N 27/26 3 8 1 A

G 01 N 27/46 3 3 8

G 01 N 27/46 3 3 6 B

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月17日(2011.5.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

静電容量測定及び無線周波数測定のうち1つを基にして、較正記憶デバイスに含まれるパターンからデータを収集するセンサアレイと、

センサアレイからデータを受信して、データに従ってデバイスを較正するプロセッサと、
、
を含むデバイス。

【請求項2】

較正が、較正記憶デバイスとともに機能を行うようにデバイスを準備することを含む、
請求項1記載のデバイス。

【請求項3】

機能が、較正記憶デバイスによって受容された試料の診断試験である、請求項2記載のデバイス。

【請求項4】

パターンが、高さ、幅及びコントラストのうち少なくとも1つの、複数の変形を含む、
請求項1記載のデバイス。

【請求項5】

静電容量測定及び無線周波数測定のうち少なくとも1つを用いて、較正記憶デバイス上に含まれるパターンを読み取ることと、

パターンに含まれるデータを判定することと、

データに従ってデバイスを較正することであって、その較正が、較正記憶デバイスとともに機能を行うようにデバイスを準備することを含むことと、

を含む方法。

【請求項6】

機能が、較正記憶デバイスによって受容された試料の診断試験である、請求項5記載の方法。

【請求項7】

パターンが、一次元及び二次元シーケンスの少なくとも1つを含む、請求項5記載の方法。

【請求項8】

パターンが二次元シーケンスの場合、二次元シーケンスを読み取るための一次元センサアレイを通過させて二次元シーケンスをスライドさせることをさらに含む、請求項7記載の方法。

【請求項9】

パターンが、高さ、幅及びコントラストのうち少なくとも1つの、複数の変形を含む、請求項5記載の方法。

【請求項10】

分析対象物計によって、分析対象物受容片を受容することと、

静電容量測定及び無線周波数測定のうち少なくとも1つを用いて、分析対象物受容片上に配設されたパターンを読み取ることと、

パターン内に含まれた較正データを判定することと、

較正データに従って、分析対象物計を較正することと、

分析対象物片上に分析対象物を受容することと、

較正された分析対象物計を用いて、分析対象物を分析することと、

分析結果を表示することと、

を含む方法。